

一般職（デジタル・電気・電子区分）  
（情報セキュリティ・IT人材）

# 入省案内2026

MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE

ひたすら、  
くらし、  
みらいのために

はじめに

## 一般職（デジタル・電気・電子区分）とは

デジタル・電気・電子区分とは、省内各情報システムの構築・運用に必要な企画や事業者の調達などに関する業務の他、システム全体に関し関係部署や関係省庁との調整などの業務に携わる事務職としての採用区分です。

これらの業務は、情報システムに関する分野の基礎知識があると理解しやすいことから、デジタル・電気・電子区分の採用を行っています。

採用後は、システムを利用する業務部門にて経験を積んでいただきながら、各事務業務に従事いただくこととなります。

## 厚生労働省における情報システムの世界

～全体を統括するPMO、個別の情報システムを整備するPJMO～

### ● 厚生労働省全体の デジタル化施策を統括するPMO (全体管理組織)

PMOでは、デジタル統括責任者及び副デジタル統括責任者のリーダーシップの下、デジタル分野における見識と高い専門性を有するデジタル統括アドバイザーからの助言・指導を得ながら、省内の情報システムを統括し、デジタル・ガバメントの実現に向けたマネジメントを行っています。

PMOは、大臣官房情報化担当参事官室及び政策統括官(統計・情報システム管理、労使関係担当)が運営しています。

### ● 所管業務のデジタル化を推進するPJMO (プロジェクト推進組織)

PJMOは、所管業務を遂行するための情報システムを整備し、行政サービスの効率的・効果的な提供を行います。厚生労働省において、政府内でも大規模となる情報システムを扱うPJMOとしては、政策統括官(厚生労働省LANシステム)、年金局(公的年金業務)、労働基準局(労働基準行政、労働保険適用徴収、労災保険給付)、職業安定局(職業紹介、雇用保険給付)があります。

デジタル・電気・電子区分に  
興味を持たれている皆さんへ

## 厚生労働省から デジタル人材の皆さんへの期待

現在、我が国では政府を挙げて行政のデジタル化を推進しています。中でも厚生労働行政は、年金・医療・介護・雇用・労働条件基準といった、国民生活に最も深く関わる領域を担っていることから、行政サービスの利便性を高めるためにも、迅速かつ大胆なデジタル化が特に求められています。

公的年金やハローワーク業務、労働保険・労働基準行政に関するシステムの開発・運用、省全体の情報システム基盤の整備・管理、医療DXやデータヘルス改革、さらにはこれらを支えるサイバーセキュリティ対策など、厚生労働省が取り組むべきデジタル関連業務は多岐にわたります。

しかし現状では、デジタル・電気・電子といった分野の専門人材が依然として十分とはいえません。だからこそ、皆さんのように専門知識と技術を培ってこられた人材の力が重要です。皆さんが私たちとともに現在、そして未来の厚生労働行政を支え、国民生活の質の向上と社会経済の発展に貢献していただくことを強く期待しています。

副デジタル統括責任者・最高情報セキュリティ副責任者  
大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官

目次

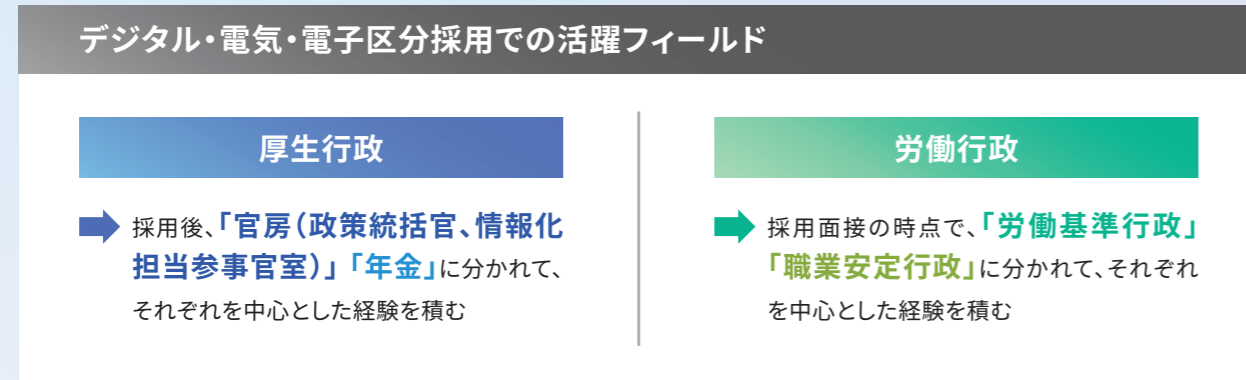
第1部	はじめに	1
第2部	採用区分、キャリアパス、 活躍フィールドの政策	3
第3部	採用後の配置先	5
第4部	ある職員の1日	13
第5部	各種制度、 ワーク・ライフ・バランス	14
第6部	募集要項等	16
第7部	採用Q&A	17



# 採用区分、キャリアパス、活躍フィールドの政策

## 採用区分について

デジタル・電気・電子区分では、以下2つの行政ごとに採用・キャリアアップをしていくこととなります。



## 採用後のキャリアパスについて

一般職では概ね2～3年ごとに異動し、幅広い業務を経験することとなります。このページでは採用されてからのキャリアパスについて紹介いたします。

役職 (経験年数目安)	係員(1年目～)	係長級(8年目～)	補佐級(18年目～)	課・室長級
厚生行政 (官房・年金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～3年ごとにシステム運用部門、情報セキュリティ対策部門、システムを利用する業務部門を異動し経験を積みます。</li> <li>入省後すぐに新規採用職員等研修(厚生労働行政の業務説明や施設等機関の見学)を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当する業務の責任者として、システムや情報セキュリティの企画・立案、予算要求等を担当します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課の予算要求・業務管理、システムの企画・調整を担当します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本省課・室の業務の総責任者を担います。</li> </ul>
労働行政 (労働基準行政・職業安定行政)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～3年ごとにシステム運用部門、情報セキュリティ対策部門、システムを利用する業務部門を異動し経験を積みます。</li> <li>入省後すぐに新規採用職員等研修(厚生労働行政の業務説明や労働基準監督署やハローワークの見学)を行います。</li> <li>全国いずれかの都道府県労働局、労働基準監督署又はハローワークでの実地研修により現場を経験します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当する業務の責任者として、システムや情報セキュリティの企画・立案、予算要求等を担当します。</li> <li>都道府県労働局への業務指導、調整などを担当します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課の予算要求・業務管理、システムの企画・調整を担当します。</li> <li>都道府県労働局幹部職員(部長など)としてマネジメント業務に携わることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本省課・室長又は都道府県労働局長として課・室や労働局の業務の総責任者を担います。</li> </ul>

※ ここに照会されているキャリアパスは一例です。勤務成績、適正、希望等により個人で異なります。

## 活躍フィールドの政策について

厚生行政では官房(政策統括官、情報化担当参事官室)または年金、労働行政では労働基準または職業安定の区分に所属し、それぞれの分野で多様な政策に携わります。

また、係員級から課室長級までのキャリア形成においては、採用区分を越えた人事交流のほか、それ以外のシステム所管部局

への異動や他省庁への出向など、幅広い経験を積む機会が用意されています。

なお、官房分野の所属となる場合は、政策統括官内の統計調査の所管課室に異動となる場合もあります。



## デジタル技術の活用による業務改革に取り組む

### 厚生行政

① 大臣官房、政策統括官(統計・情報システム管理、労使関係担当)

### 主な勤務場所

- 中央合同庁舎5号館(霞が関)

### 業務内容 ～デジタル・電気・電子区分として活躍できるフィールド～

#### ● PMOとして

デジタル・ガバメントの実現に向けて、厚生労働省の情報システムの整備及び管理における企画、調整、評価、予算審査及び調達支援や、申請・届出等手続におけるオンライン利用促進、デジタル人材確保・育成等の取組を行っています。

#### ● 医療DX・データヘルス改革

少子高齢化が進む中で、健康寿命の延伸、社会保障制度の持続可能性の確保といった我が国の課題に対応するため、健康・医療・介護分野の各制度で蓄積されたビッグデータの利活用や最先端技術の導入により国民がメリットを感じられるICTインフラの整備などを行っています。

#### ● サイバーセキュリティ対策

電子データの漏えい・改ざん等を防ぐための事前の危機管理やその対策、サイバー攻撃等を検知した際の初動対応等の指導や、事案の発生から終息に至るまでの状況等を分析し、省内情報システムの運用部門等と共有することで、更なる対策の強化に取り組んでいます。

#### ● 省の基幹システムの企画・運用等

厚生労働省の各機関(約2,100箇所)をセキュアな広域回線で接続したネットワーク基盤、電子メールやファイル共有、各種業務支援システム等を集約したグループウェア(利用者約7万人)、「厚生労働省ホームページ」など業務処理の基幹となる情報システムを企画・運用しています。

### 厚生行政

① 大臣官房、政策統括官(統計・情報システム管理、労使関係担当)

政策統括官付  
情報システム管理室  
情報化基盤企画係長  
平成28年入省

#### PROFILE

平成28年 入省  
政策統括官付  
サイバーセキュリティ担当参事官室

平成30年 政策統括官付情報システム管理室

令和3年 年金局事業企画課システム室

令和5年 職業安定局労働市場センター業務室

令和7年 現職



### 職員からのメッセージ

#### 現在の業務

厚生労働省の全国約2,100拠点を繋ぐネットワークの運営を主な業務として行っています。

具体的には、ネットワークの運用を委託している事業者からの報告を受けたり、相談事項や障害発生時には打合せで確認と解決に向けた調整を行ったりします。

また、ネットワークに接続している個別システムなどの関係者から、ネットワークに関する相談や依頼があれば、それらを確認し、委託事業者への指示や調整を行っています。

さらには、運用のみならず、ネットワーク更改のための企画や予算確保、調達業務も行っています。

#### 厚生労働省を志望した理由

入省の前年には世間を騒がした情報流出事案があり、これに対して情報セキュリティ・IT人材が厚生労働省でも求められ始めているところでした。

新卒であったため、大学での知識しかありませんが、この知識を情報セキュリティ観点で活かさないかということで厚生労働省を志望しました。

#### 印象深い業務

全国規模のネットワークの運営とその更改は、その規模から非常に大変な業務であると同時に、巨大なネットワークの構成と運用方法を学ぶ、貴重な経験になっています。

また、PROFILEのとおり、色々な局の業務を経験しています。いずれの業務も現在担当しているネットワークが関係する全国規模の情報システムであり、厚生労働省がいかに大きな組織で国民の大切なサービスを提供していることを実感することができました。

#### 皆さんへのメッセージ

厚生労働省は所管する政策は多く、それに伴って多くの情報システムを抱えています。どの情報システムも特徴と課題を持っており、この課題を解決しながら安全かつ円滑にシステムを稼働させるには、関係者との協力が必要不可欠です。

業務を遂行する上で、ある程度の情報システムに関する知識が必要となりますが、研修や情報資格取得に向けた取り組みもありますので、是非一緒に働いてみませんか。

## 複雑な公的年金制度を正確かつ公正に運営

厚生行政

② 年金局

### 主な勤務場所

- 日本年金機構本部(高井戸)
- 中央合同庁舎5号館

### 業務内容 ～デジタル・電気・電子区分として活躍できるフィールド～

#### ● 社会保険オンラインシステム

公的年金制度は国民の身近な暮らしを支えるものであり、その複雑な制度を正確かつ公正に運営するために構築されている、非常に大規模なシステムが社会保険オンラインシステムです。

#### ● サービスの実施体制とシステム

社会保険オンラインシステムは、全国の年金事務所や事務センター等と日本年金機構本部をネットワークでつなぎ、それぞれの役割に応じたサービスを実現しています。このため、市区町村や金融機関など数多くの外部機関とも密接に連携し情報交換を行っています。

#### ● 多岐に渡るサービスの実現

社会保険オンラインシステムは、公的年金(国民年金や厚生年金保険など)に係る被保険者記録の管理から、年金の給付、相談に至るまで、多岐にわたる日本年金機構のサービスを実現しています。

#### ● IT化の推進及び大規模なシステムプロジェクトへの取り組み

政府全体で推進している手続の電子化などの、利用者中心のサービス改革への取り組みや、現在稼働しているシステムの課題に対応するため、大規模なシステムの見直しに取り組んでいます。

厚生行政

② 年金局

年金局事業企画課システム室  
情報企画係長  
平成17年入省

#### PROFILE

平成17年 入省  
社会保険庁

令和2年 総務省行政管理局  
行政情報システム企画課  
情報システム管理室

令和3年 デジタル庁  
省庁業務サービスグループ

令和7年 現職



#### 職員からのメッセージ

### 現在の業務

#### ～公的年金業務を支える～

当室は、日本年金機構と一体となり、公的年金制度を情報システムの側面から支える業務を担っています。

私は、日本年金機構の職員と共に社会保険オンラインシステムを構成する代表的なシステムである記録管理システム等の刷新にあたって、必要となる予算を見込み、精査した上で、その確保に必要な厚生労働省内外の調整を行う予算要求業務、また、実際に各開発事項が計画どおりに進むように、調達からシステム開発、稼働に至るまでを管理する執行管理業務などに取り組んでおります。

### 厚生労働省を志望した理由

厚生労働省が所管する社会保障制度は、私たちの安心と生活の安定を支えるセーフティネットであり、学生の頃から自分の生活と密接に関わる身近な行政だと感じておりました。

なかでも、所得保障の仕組みとして重要な役割を果たす公的年金制度は、私たちの生活を支える基盤となっています。この制度を将来にわたって維持し、安心して暮らせる社会づくりに貢献したいと考え、厚生労働省を志望しました。

### 印象深い業務

現在取り組んでいる社会保険オンラインシステムの記録管理システム等の刷新は、政府最大級のシステムの刷新であり、政府が定めるプロセスを基本として、絶えず大規模システムならではの工夫を続けております。それに必要な予算を確保し、システム開発等を行う事業者の調達を行い、稼働に至るまでを管理していく必要があり、多くの関係者と協議を重ね、課題を一つずつ解消しながら各プロセスを一つずつ達成できた時は、成果を実感し、大きなやりがいを感じます。

政府最大級のシステム刷新に携われたことは、私にとって貴重な経験となっています。調整を行いながらプロジェクトを着実に前に進めて行く過程で多くの学びを得ることができたことは、今後の職業人生においても必ず活かされると実感しています。

### 皆さんへのメッセージ

政府最大級の社会保険オンラインシステムを安全かつ円滑に稼働させ、さらに刷新を進めて行くためには、様々な役割を持つ担当者が連携して一体となって成果を発揮することが求められます。

今まさに、大きな節目を迎えている社会保険オンラインシステムに是非活躍の場を見出していただき、私たちと共に、皆さんがお持ちのITスキルを活かしてみませんか。

## 労働行政のデジタルトランスフォーメーションに取り組む

労働行政

③ 労働基準局

### 主な勤務場所

- 上石神井庁舎
- 中央合同庁舎5号館

### 業務内容 ～デジタル・電気・電子区分として活躍できるフィールド～

#### ● 労働保険適用徴収システム

労働保険適用徴収システムは、労働保険等(労災・雇用など)の適用や保険料の徴収に関する事務、債権管理に関する事務を行うためのシステムです(利用者約4万人、約10の外部システムと連携)。

※**労災保険**:労働者が仕事(業務)や通勤が原因で負傷した場合、また、病気になった場合や不幸にもお亡くなりになった場合に、被災労働者やご遺族を保護するための給付等を行っています。

※**雇用保険**:労働者が失業した場合や育児・介護のために休業した場合、また、自ら教育訓練を受けた場合に、生活・雇用の安定と就職の促進を図るための給付等を行っています。

#### ● 労働基準行政システム

労働基準行政(監督・安全衛生・労災補償)の業務を行うためのシステムです。

業務を行っている全国の都道府県労働局・労働基準監督署の利用者は1万人を超え、20以上の外部システムとの連携を行っている大規模システムです。

労働行政

③ 労働基準局

労働基準局労災保険業務課  
労働基準行政  
デジタル化推進統括係長  
平成29年入省

#### PROFILE

平成29年 入省  
香川労働局賃金室

平成30年 香川労働局高松労働基準監督署

令和3年 労働基準局総務課

令和7年 現職



#### 職員からのメッセージ

### 現在の業務

#### ～労働基準監督署の仕事を支える～

労災保険業務課は、全国の労働局や労働基準監督署にて職員が利用している労働基準行政システムの改修、更改等に係る調達や運用に関する業務を担っています。

私は、労働基準監督署の現場経験を活かし、労働基準行政システムに関する予算要求業務や調達担当係が円滑に業務を進められるよう内外における調整業務を担当しています。

### 厚生労働省を志望した理由

民間企業を複数転職してから入省した転職組です。

「残業時間が多い」、「職場環境が悪くて体調を崩す」といった声がある中で、労働者が安心して働ける社会の実現に貢献したいと考え、働く人の労働条件の確保・向上、安全や健康の確保、そして、労働災害に遭われた方に対する労災補償の中核を担う労働基準行政を志望しました。

### 印象深い業務

労働基準行政システムの予算要求業務です。

労働基準行政システムは、厚生労働省における政府情報シス

テムの中でも大きな予算を扱うシステムであり、予算要求業務では、PMOやデジタル庁といった関係各所に対して、システム整備経費やシステム運用経費といった要求内容の必要性や費用対効果を具体的に説明する必要があります。

特に、システム改修に必要な予算額は、システム化の可否を関係部署と調整を重ねて検討し、支援業者にも協力してもらいながら、金額を精査していきます。

貴重な財源の限りある予算のため、状況に応じて取捨選択が求められることもありますが、必要な予算を確保できた時にはやりがいを感じることができます。

### 皆さんへのメッセージ

労働基準行政は、既存システムの改修や運用のみならず、これから先を見据えたAI・データ活用や業務DXなど、取り組まなければならないデジタル化施策が多数あります。

これら施策を着実に推進していくためにも、様々な経歴・スキルを持つ職員が協力して日々業務を行っています。

皆さんもその一員として、働く人々を支える仕組みづくりに一緒に取り組みませんか。お待ちしております。



## 利用者にとって価値あるサービスをデザインする

労働行政

④ 職業安定局

### 主な勤務場所

- 上石神井庁舎
- 中央合同庁舎5号館

### 業務内容 ～デジタル・電気・電子区分として活躍できるフィールド～

#### ● ハローワークシステム

ハローワークシステムは、全国のハローワークで行われている職業紹介や雇用保険などの業務処理を行うためのシステムで、全国で約1,300拠点で使用されている、行政機関の中では最大級の規模のシステムです。ハローワークシステムを通じて、仕事探しをする方や失業して雇用保険を受給する方など、多くの方の生活を支えています。

#### ● デジタルサービスの推進

コロナ禍以降、オンラインでの職業相談・失業認定といった取り組みを開始するなど、ハローワークのサービス全体のデジタル化を推進しています。ハローワークの利用者には、様々な理由でハローワークの窓口へ来所することが困難な方もおり、オンラインでのサービスを提供することも非常に重要な取り組みとなります。

#### ● 今後求められる業務内容

利用者に対し、より質の高いサービスを提供するため、ハローワークの既存の業務プロセスを抜本的に見直し効率化して、利用者の利便性の向上と職員の生産性の向上の両面を実現するシステムを構築することが求められています。そのためには、業務内容とシステムの双方を知識を持った上で、システム改修の費用対効果を確認し、業務を「システム化する部分」「そうでない部分」に切り分けを行える人材が不可欠です。デジタル・電気・電子区分の皆様には、ぜひそうした人材としてご活躍いただきたいと考えています。

労働行政

④ 職業安定局

職業安定局  
労働市場センター業務室  
事業所管理系システム係長  
平成26年入省

#### PROFILE

平成26年 入省  
茨城労働局土浦公共職業安定所

令和2年 職業安定局雇用保険課

令和3年 大臣官房会計課

令和6年 現職



#### 職員からのメッセージ

#### 現在の業務

##### ～ハローワークサービスを支える～

ハローワークシステムは全国の都道府県労働局・ハローワークで毎日使用されている大規模なシステムです。雇用保険、職業紹介を始めとした複数の業務の機能に分かれており、そのうち私は助成金システムを担当しています。

制度改正に対応したシステム開発、システム障害を始めとしたトラブルが発生した際の対応のほか、助成金システムは今後どうあるのが最適か、長い時間軸での検討もしています。

全国の労働局・ハローワーク業務に影響するシステムであることから、場合によっては緊急の対応もあり気が抜けません。

#### 厚生労働省を志望した理由

私の学生時代はブラック企業という言葉が広く普及した頃でした。理不尽な理由で働けなくなってしまった人に寄り添いたい、一人でも辛い思いをする人がいないような世の中にしたい、そう思ってハローワーク職員を志望しました。

ハローワーク職員として働くうち、労働局やハローワークで利用者の方に案内している制度が厚生労働本省で作られていることを知りました。どのような過程を経て様々な制度が世に出されるのか興味を持ち、厚生労働本省での勤務を希望するようになりました。

#### 印象深い業務

システムを構築するにあたっては、長い期間と多くの人々の協力が必要です。

国民の声を拾い必要な制度を考える人、政策を法律として形にする人、省内外の関係者と調整をする人、システムで何を実現したいのか考える人、必要な予算を確保する人、必要な契約手続きをする人、実際にシステムを開発する人、そのシステムを使用する人、できあがったシステムに異常がないか日々見守る人、枚挙に暇ありません。また、実現するためには様々な手続きやプロセスを経ます。

自分ひとりで完結する業務など決してなく、数多くの人それぞれがそれぞれの段階で同じ目標のために協力していることに胸がいっぱいになりました。

#### 皆さんへのメッセージ

ハローワークシステムは歴史の長いシステムです。一方、IT技術は日進月歩で進化しており、当時構築したシステムは、現在では必ずしも最適な形であるとは言えなくなっています。また、厚生労働省で働いている全ての者がシステムやIT技術に明るいわけではありません。

日々勉強しながら、様々な背景を持つ多くの関係者と対話し一緒に粘り強く最適解を探していける、そのような皆様と働くことを楽しみにしています。



## ある職員の1日



政策統括官付  
情報システム管理室(管理第二係) 令和4年入省

### 現在の職務について

職員の業務の基盤となるシステムの管理・運用を行う室に所属しており、職員が利用する端末やグループウェア、テレワーク環境などを整備している厚生労働省LANシステムを担当しています。

システム更改の時期にあたり、省内外他システムとの連携に関する調整に取り組んでいます。

ITに関する専門的な知識を活用しながら、関係者との調整や、相談・依頼事項への対応方針の検討、案件やスケジュールの管理など、事務官としての能力も必要とされる職務です。

### 【1日の流れ】ある日の例

#### ①出勤

メールと今日の予定を確認します。自分が対応中である業務の進捗を把握し、業務を開始します。



#### ②午前中

現行システムの追加機能に関する利用方針について、事業者からの提案を踏まえて検討します。

検討結果を整理したものについては係内に共有しますが、相手に伝わる内容になっているかを意識しながら、資料作成や説明方法を整えることを心がけています。

#### ③お昼休み

エレベーターや食堂の混雑緩和のため、お昼休みの時間帯は部局ごとに分かれています。

自分は食堂で販売しているお弁当を購入して昼食を取った後、午後に備えて仮眠を取ることが多いです。



#### ④午後

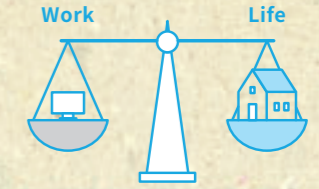
関係システムにおいて実施している、次期システムで利用する端末の動作検証で不具合が発生したため、事業者と連携して対応方針を検討し、対処にあたります。システム更改後に不具合が判明した場合、利用者の業務に影響がでるおそれがあるため、関係システムの担当者や連携しながら慎重に対応しています。



#### ⑤退庁・週末

明日以降のタスクを整理してから退庁します。業務はデスクワークが中心なので、週末は気分転換のために外に出ることを心がけています。

カメラで写真を撮ることがマイブームで、冬のイルミネーションや春の桜を撮影し、季節の移ろいを楽しんでいます。スマートフォンで撮る写真とは異なる表現ができるのが魅力で、ひまわりや夏祭りの花火など、これから訪れる季節ならではの景色を撮るのが待ち遠しいです。



## 各種制度、ワーク・ライフ・バランス

### 研修制度等

採用後は、役職に応じて最新のデジタルスキル・マネジメントスキルを習得できるよう、IT、情報セキュリティ関係等の豊富なメニューの研修が用意されています。

一例として、デジタル庁にて用意する各役職に応じた情報システム統一研修や、情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験の合格を目指す試験対策講座等、様々な研修を受講することができます。

試験対策講座は、ITパスポート試験、情報セキュリ

ティマネジメント試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、高度試験、情報処理安全確保支援士試験が用意されており、費用負担なく受講が可能です。また、受験料が補助される場合もあり、費用負担なく受験できる環境が整備されています。

このほか、厚生労働省においても、実践的な内容を盛り込んだ独自の研修プログラムを用意しています。

### ワーク・ライフ・バランスのための働き方改革・休み方改革

厚生労働省では、日本社会の「働き方改革」を進める一方、省内職員に対しても積極的に推進しています。

#### 働き方改革の目標

##### 【在庁時間の縮減】

- 原則20時までに退庁 ▶
- 定時退庁日は19時までに退庁 ▶
- 原則17時15分以降は会議を行わない ▶

##### 【フレックスタイム制や早出・遅出勤務の活用推進】

- フレックスタイム制について、特に育児や介護を行う職員からの希望は、原則100%希望どおり対応できるよう促進

- 国会対応などの他律的業務について、早出・遅出勤務を活用

- 育児や介護など配慮を要する職員をはじめ希望する全職員についてテレワークを活用



##### 【テレワークの活用推進】

#### 休み方改革の目標

- 年次休暇 …… 年間16日以上休暇取得  
毎月1日以上年次休暇を取得する「マンスリー休暇」の実施



- 夏季休暇(3日) …… 年次休暇の取得とあわせて連続1週間以上の休暇を取得

- その他の休暇 …… GW・年末年始は、年次休暇を取得し、連続した期間の休暇とする



## オフィス環境紹介、若手職員サポートの充実

### オフィス環境のご紹介

#### 【執務環境の改善等】

事務机・椅子等の交換により、快適な執務環境を実現するとともに、業務効率化や柔軟な働き方の推進のため、打合せスペースの増設やオンライン会議用ブースの設置も行っています。



### 職員ケアの充実

#### ●メンター制度

新入職員1名に対し、先輩職員1名がメンターとなり、日々の不安や、業務の進め方などを幅広く相談でき、アドバイスを受けられる制度を運用しています。



#### ●エンゲージメントサーベイ

若手職員を対象に、組織に対する自発的な貢献意欲や、主体的に仕事に取り組んでいる心理状態の推移を把握するために行っています。

実施結果を関係者で共有し、若手職員に対するきめ細かいケアに役立っています。



#### ●1on1ミーティング

上司と部下による1対1の定期的な対話時間を設け、心理的安全性の向上、部下の成長の促進、部下のキャリア支援等に役立っています。

また、業務上の目標設定・確認や業績の評価を行う人事評価面談とは別に、1on1ミーティングを行うことで、組織内の人間関係やコミュニケーションの円滑化を図っています。

## 募集要項

### ●採用予定区分

令和9年度採用予定者については、国家公務員採用一般職試験(デジタル・電気・電子区分)の最終合格者から採用予定です。

### ●令和8年度(令和9年度採用予定者)採用スケジュール予定

詳細は巻末記載の「国家公務員試験採用情報NAVI」にてご確認ください。

2月19日(木)～3月23日(月)	国家公務員試験 受付期間
5月31日(日)	第一次試験
未定	厚生労働省 業務説明会 (※日程については、決まり次第ホームページへ掲載します。)
6月24日(水)	第一次試験 合格発表日
未定	人事院主催 官庁合同業務説明会
7月2日(木)～	官庁訪問
7月8日(水)～7月24日(金)	第二次試験日(人物試験)
8月12日(水)	最終合格発表日
10月	採用内定

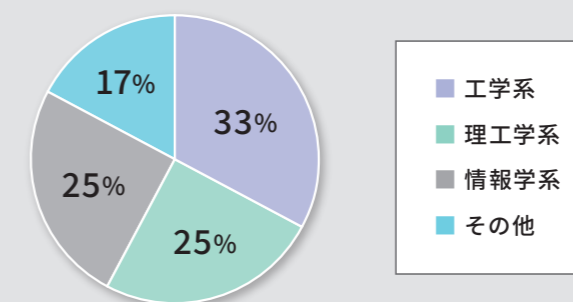
## 募集要項

### ●採用人数 ※()は女性の数を示します。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
3(1)人	4人	1(1)人	1人	1人

### ●採用実績の内訳 (平成28～令和8年度)

出身学部等にとらわれず、採用をおこなっています。また出身地、出身大学ともに全国に拡がっております。



## 採用Q&amp;A

**Q** デジタル・電気・電子区分ではどのような人材を求めていますか？

**A** 国民の皆様一人ひとりに向き合う具体的なサービスを企画・制度化し、情報システムの有効活用を図りつつ社会実装に取り組んでいます。

このため、日々進化する最新のICT技術の知見や情報セキュリティに関する知識などを備えると共に、柔軟な発想を持つ方が望まれます。

また、専門分野をわかりやすく説明したり、協力して課題に取り組む必要のある場面もありますので、適切なコミュニケーションがとれることも重要となります。

**Q** 公務員試験の順位や年齢は採用に影響しますか？

**A** 影響はありません。採用(官庁訪問)に当たっては人物重視の面談を実施しています。また民間企業の経験や出身校、学部も採否に影響はありません。既卒者の方も歓迎です。

**Q** どうすれば一般職(デジタル・電気・電子区分)として働くことができますか？

**A** まずは、国家公務員採用一般職試験を「デジタル・電気・電子」区分で受験してください。試験に関する詳細な情報は、巻末記載の「国家公務員試験採用情報NAVI」にてご確認ください。

試験合格後は、「官庁訪問」にご参加いただき、当省の職員と面談をしていただきます。この面談を経た後、採用予定者を決定し、原則として翌年の4月に採用しています。

官庁訪問の詳細については、決まり次第、巻末に記載のデジタル・電子・電気区分の採用ウェブサイトにて掲載しますので、ご確認ください。

**Q** 初任給について教えてください。

**A** 初任給は一般職(大卒程度)では278,400円(地域手当を含む。)程度です。職歴がある場合には、経験年数により上記額に加算されることもあります。その他の手当として、本府省業務調整手当、住居手当、通勤手当などがあります。

また、6月と12月の年2回、ボーナス(期末手当・勤勉手当)も支給されます。※令和8年4月1日現在

**Q** 出向先はどういったところがありますか？

**A** 主に、内閣官房、内閣府、デジタル庁、総務省のような情報システムや情報政策に関係する省庁が多いですが、年金分野に配属された場合は日本年金機構や、労働行政に配属された場合は都道府県労働局への出向もあります。

**Q** 宿舎はありますか。また住居手当はどれくらい出ますか？

**A** 単身者用・世帯用を含めて、宿舎があります。アパート等に入居される場合は、家賃額にもよりますが、最大28,000円の住居手当が支給されます。

**Q** 人事異動時に個人の希望は反映されますか？

**A** 必ずしも本人の希望どおりになるとは限りませんが、定期的実施する意向調査により、本人の希望や配慮すべき事情を確認するとともに、能力や適性を勘案して、適材適所となるような人事異動が行われています。

**Q** 省内の設備について教えてください。

**A** 中央合同庁舎第5号館内には、コンビニ、カフェ、食堂、内科・歯科診療室、保育室などの便利な施設や、研修室、多目的室など職員の健康管理やスキルアップを充実させるための設備も整っています。

また、東京メトロ霞ヶ関駅改札から当省は直結していますので、通勤や昼休みを利用した移動も快適です。



## 厚生労働省一般職(デジタル・電気・電子区分)の採用窓口

## ● 問い合わせ先

政策統括官付参事官付統計・情報総務室 人事第一係

TEL : 03-5253-1111(内線7339) Email : itjinnzai@mhlw.go.jp

● 厚生労働省一般職(デジタル・電気・電子区分)採用ページ  
業務説明会や官庁訪問に関する情報を随時更新しています。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kouseiroudoushou/saiyou/kokka-den/index.html>



## ● 厚生労働省採用特設サイト

厚生労働省の採用に関する全体概要を知りたい方はこちら

<https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/saiyou/tokusetsu/>



## ● 人事院国家公務員採用情報NAVI

試験情報の詳細等はこちら

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>





ひと、暮らし、みらいのために  
**厚生労働省**  
Ministry of Health, Labour and Welfare

一般職（デジタル・電気・電子区分）  
（情報セキュリティ・IT人材）

## 入省案内2026

### ACCESS



〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館

TEL 03-5253-1111(代表) FAX 03-3595-1605

<https://www.mhlw.go.jp/>

【採用ホームページ】

厚労省 デジタル電気電子



<https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka2/kokka2-kousei/den-jouhou.html>

